

病院壁画は「なごみ系」

姫路の
井野病院

病棟階段にメルヘン調

姫路市大塩町汐咲の医療法人汐咲会「井野病院」（井野隆弘院長）で、階段や踊り場の壁一面に、童話の絵本に出てくるような夢のある絵が描かれ、患者らの気持ちを和ませている。

北欧のケアホームが、壁いっぱいにはルネサンス期の絵画などを模写していたのをヒントに、井野節子事務局長が「無味乾燥な病棟の白壁を明るく、楽しく見せたい」と絵を描くことを発案。京都造形芸術大の小林昌広助教授に依頼し、同大の学生や卒業生ら計十六人が八月一日から約四十日間かけて完成させた。

“キャンパス”になったの

制作ら大生芸形造大京

は病棟の二か所の階段部分の白壁。一階から四階までの各階に、洗濯物を干したカントリー調の家や、クマの縫いぐるみなどが明るい色調で描かれ、メルヘンの世界にいざなう。

入院している久保満喜子さん(75)は「階段の昇り降りが楽しく、エレベーターを使わなくなった」。井野事務局長も「病棟全体が生き生きとしてきた」と喜んでいる。

明るい色調で壁一面に描かれた絵画
(井野病院で)

